

たんぽぽだより

2021年 6月号



今年は梅雨入りが早くもう雨の季節になりましたね。今の時期に雨が降らないと、夏水不足になってしまうことも有るので、必要な雨ですが、ずっと続いたり災害になるほどひどく降る事が無い事を願いたいです。

ただ『嫌だいやだ』と思っても自然はどうにもできません。どうにも出来ない事を思い悩む事は、ストレスとなり免疫力が落ちます。

それよりも雨を楽しむ事をお勧めします。傘をさしたり、レインコートに長靴でお散歩してみると子ども達はたくさんの発見をしたいと思います。大人にとっては普通の事が、子どもにとっては大きな発見となり子どもの意欲を引き出していきます。「あっ!」「これなんだろう」そういう感情を大事にしてください。

そして6月は『いのちを考える月間』になっています。

いま世界中で流行しているコロナウイルス感染症、チラホラ身近なところで感染者が出たという話を聞くようになってきました。マスク・ワクチン・会食など何を基準にしていけばいいのかわからない状態だと思います。陽性になった人は、自分を責めるという事も聞きます。症状が無くても自分を責めれば免疫力が下がります、それだけで症状が出てきそうですね。

どこで感染するかわからないので、感染のリスクは全員一緒です。

もしコロナにかかったとしても、軽ければ問題ないと思います。医療崩壊を防ぐには、重症化しないことです、そして重症化しないためには免疫に活躍してもらう事しかないのです。免疫がちゃんと働けばワクチンより安全だし間違いがないです。

要するに一人一人が気をつけるのは、

健康でいる事⇒元気でいる事⇒幸せでいる事＝毎日笑って過ごす事が何より大事な事です！！

今月の目標：いのちをありがとう。梅雨期の自然に触れ楽しむ。

つぼみ組【0歳児】：指さし、喃語、表情など受け止めてもらい、保育者とやりとりする心地よさを感じる。寝返りや、ずり這いをして自由に動き回る。

もも組【1歳児】：梅雨時期の自然に興味を持ち、触れてみようとする。保育者や友だちとの関りを喜び、じっくりと遊ぶ。

ゆり組【2歳児】：身の回りのことを保育者に手伝ってもらいながらも、自分でやろうとする。梅雨期の自然に触れ雨を楽しむ。友達とのやり取りを経験しながら興味のある遊びや活動を十分に楽しむ。

6月の保育内容

養護

つぼみ組：園庭の日陰でベビーカーやレジャーシートの上で日光浴を楽しみ水分補給をこまめにしながら熱中症に気をつける。表情や仕草、簡単な言葉の意図、願いが伝わり、受け止められていることを感じ安心できるようにする。保育者と遊んだりすることで、安心して生活できるようにする。

もも組：衛生的な環境の中で、元気に過ごす。オムツへの排泄の不快感を伝える。一人一人の子どもが安心して自分の思いを出していけるように、その都度子どもの思いを受け止め、共感していく。梅雨の自然に興味を持ち、水溜まりを見たり触れたする。

ゆり組：こまめに水分補給をし、一人ひとりの体調の変化に気を付ける。一人ひとりと言葉のやり取りやスキンシップを十分に行い、安心感を味わいながら過ごせるようにする。保育者と一緒にトイレに行って排泄しようとする。

教育

つぼみ組：おもちゃに手を伸ばして取ろうとしたり、グライダーポーズの姿勢を取ったりする。スプーンで少量ずつ食べ物を載せ、嚥下の様子を見ながら、ゆっくりと進めていく。保育者と一緒に興味のあるおもちゃで遊ぶ。喃語に応えてもらい、やり取りする心地よさを感じる。ずりばいで、体を動かしてハイハイ出来るようになる。

もも組：食事の挨拶や「あいうべ体操」など意欲的に取り組む。スプーンやフォークの正しい持ち方を知る。自分の身体に触れながら身体の部位を知り、自分の身体に関心を持つ。裸足で砂遊びなどを楽しむ。友だちの名前を呼び合ったり話しかけたり頭をなでたりして仲を深め、一緒に過ごす楽しさを味わう。二語文や三語文で相手に気持ちを伝える楽しさを味わう。砂、水、新聞紙、絵の具などの素材にふれて遊ぶ。保育者と一緒に様々な手遊びやふれあい遊びを楽しむ。

ゆり組：食べ物に興味を持ち、命の大切さを感じながら食事を楽しむ。トイレに興味を持ち、尿意を伝え、トイレで排泄しようとする。友達とのトラブルを経験する中で、ルールや決まり事がわかるようになる。「ありがとう」「ごめんなさい」が自然と言えるようになる。目的を理解し、園外へ出ることを楽しみにする。自分の好きな歌や絵本が見つけられるようになる。

6月の歌

かたつむり カエルの合唱 歯を磨きましょー 雨降りくまのこ 時計の歌 シャボン玉

4月の苦情・ご提案について：特にありませんでした。